



Greenvityが、IoT（Internet of Things: モノのインターネット）ソリューションを発表。 スマートLED照明、家庭・ビルオートメーションに展開。

- DistribuTECH展示会にて、「モノのインターネット」ソリューションをデモ展示。
- ホームプラググリーンPHY電力線通信・ZigBee無線を集積したSoCチップ、モジュール、ソフトウェア、モバイルアプリで構成されたターンキーソリューションを提供。

米国カリフォルニア州 ミルピタス、－2014年1月13日－

Greenvity Communicationsが、あらゆる家庭・ビル内機器を「モノのインターネット」対応可能とする、システムオンチップ（SoC）・モジュール・ソフトウェア・モバイルアプリから構成されるターンキーソリューションを発表しました。家庭・ビル内機器は「スマート」となり、エネルギー削減・家庭内/ビルオートメーションを実現します。これらソリューションのコア技術は、GreenvityのHybrii® SoCチップであり、ホームプラググリーンPHY電力線通信とZigBee無線を集積し、堅牢で広範囲をカバー出来る通信を可能とします。スマートLED照明・家庭/ビルオートメーション、M2M、エネルギー管理システムを簡単に構築出来るようになります。

Greenvityのソリューションは、お客さまが短期間で製品を開発する為に必要とする全ての機能を提供しますので、迅速な試作品の製造・量産設計が可能となります。特にすぐそのまま製品に使えるボード・ソフトウェアは、お客様の量産化までの期間・費用を劇的に削減します。用途に応じて柔軟にモジュール及び基本ソフトウェアのカスタマイゼーションが可能ですので、お客様が独自のソフトウェアレイヤーを追加するだけで、革新的で他と差別化された「モノのインターネット」対応製品の開発が可能となります。

Greenvityの「モノのインターネット」ソリューションは、まずLED照明コントロールに焦点を当て、家庭・ビル施設内の様々なLED照明、LED街路灯のオートメーション化を促進します。次に、空調機器・ルーター・家電製品にインター

ネット機能を持たせ、「スマート」化する計画です。

スマートLED照明

GVコントローラー、GV-LED、GVセンサーのモジュール3種で、スマートLED照明を構築します。各モジュールはいずれも、通信用にGreenvityのHybrii® SoCチップである、GV7011 (PLC+ZigBee) あるいはGV7013 (PLC) チップを内蔵しています。

GV-LEDモジュールとGVセンサーモジュールは、PLCあるいは無線経由でGVコントローラーにより制御されます。これらにより「モノのインターネット」ネットワークが構築され、携帯端末を使って操作することも出来ます。

- **GVコントローラー (ゲートウェイ & 照明制御モジュール) :**
ARM9プロセッサ・Linux OSを使用し、Wi-Fi、イーサネット 10/100、USB、SPI、低消費電力版Bluetooth (BLE)の機能を有します。
GVコントローラーがGVセンサーからの情報を得て、GV-LEDの制御を行います。
LED照明用途以外でも、空調制御パネル・ルーター等に搭載可能です。
- **GV-LED (LEDドライバーモジュール) :**
LEDドライバー・電源に接続され、GVコントローラーの指示に従ってLEDドライバー・電源を稼働させることで、LED照明のオン・オフ、調光、色温度設定を行います。GV-LEDモジュールは、LED照明のLEDドライバーあるいはLED電源内に内蔵するか、もしくは外置きにして既存LED照明器具を簡単に「スマート」化することも出来ます。
- **GVセンサー (センサーモジュール) :**
人感センサー・照度センサー・温度センサーを搭載し、GVコントローラーにPLCもしくは無線を使ってモニタリング情報を送ります。これを使用することで、自動制御の「スマート」LED照明が構築出来ます。
空調機器制御、あるいは他用途のモニタリングにも使用出来ます。

GreenvityのスマートLED照明ソフトウェアとモバイルアプリ (iOS・Androidをサポート) は、ライセンス費用不要で無償にて提供されます。255個までの照明デバイス (あるいは他デバイス) をスマート化し、スマートフォン・タブレットからのコントロール・モニタリングを可能とします。API提供により、顧客が独自のアプリケーションソフトウェアを追加し、差別化を図ることも出来ます。

「Greenvityの新しいターンキー “モノのインターネット (IoT) ” ソリューションは、顧客が性能・信頼性を妥協することなく、エンドユーザーに素早く製品を

提供することを可能にするものです。」とGreenvity CEOの Hung Nguyenは言っています。「我々のスマートLED照明、家庭・ビルオートメーションのソリューションは、システムオンチップ・モジュール・ソフトウェアで構成され、これらが顧客のtime-to-market（市場への商品投入までの時間）を大幅に短縮すると共に、顧客の開発コストを劇的に低減させることが出来るのです。」

Greenvity は、この新しい「モノのインターネット」ソリューションのデモを、今年1月28日～30日に米国テキサス州 San Antonio で開催される DistribuTECH の Greenvity ブース（小間番号 801）にて展示予定です。

Hybrii-XL及び Hybrii-Miniシステムオンチップ：

Greenvityのハイブリッド SoC（システムオンチップ）ソリューションは、スマートグリッドへの機器の接続、省エネ家電を実現し、様々な家庭・ビルオートメーション・エネルギー管理、スマート照明を可能とします。

各賞受賞のHybrii-XL (GV7011) SoCは、家庭・産業用スマートグリッド、スマートエネルギー管理に最適で、ホームプラググリーンPHY電力線通信と2.4GHz IEEE802.15.4/ZigBee RFトランシーバーを集積した世界初のSoCチップです。高性能8ビットマイクロコントローラーを内蔵し、イーサネット10/100、SPIと言った様々なインターフェースを用意し、プラグアンドプレイが可能です。

低価格版である Hybrii-Mini (GV7013)は、ホームプラググリーンPHY電力線通信チップで、8ビットマイクロコントローラー・メモリーを内蔵しています。高性能且つ堅牢なPLCを実現し、データレートは最大9.8 Mbpsです。SPI、UART、I2C及びPWMのインターフェースを用意し、LEDドライバーを直接コントロールすることが出来ます。

出荷開始時期：

GV コントローラー・GV-LED・GV センサーの各モジュールは、現在出荷可能となっております。照明コントロール、家庭・ビルオートメーション用ソフトウェア及びモバイルアプリは、無償にて顧客に提供されます。

詳細情報は、Greenvity の Web サイトをご覧ください。
www.greenvity.com.

Greenvity Communications について：

Greenvity Communicationsは、「モノのインターネット (IoT)」のソリューシ

ョンプロバイダーです。 スマートLED照明、家庭・ビルオートメーション、センサーネットワーク、スマートメーター、自動車関連を手掛けております。

Greenvityは、特許取得済みのハイブリッド通信技術（国際標準規格PLC及び無線通信を集積）によって、堅牢で広範囲に亘る「モノのインターネット」を実現させます。 **Greenvity**のミッションは、システムオンチップ・モジュール・ソフトウェアで構成されるターンキーソリューションを顧客に提供することで、顧客の短期間での市場への商品、及び開発コストの大幅な削減を可能することです。 2011年より本格操業を開始し、本社所在地は米国カリフォルニア州シリコンバレーです。 www.greenvity.com

###

メディア問い合わせ先:

Greenvity Communications
Angie Hatfield, Public Relations
angie@greenvity.com
(425) 941-2895

Greenvity 営業窓口:

担当：築瀬（やなせ）
電話番号 +1 (650) 814-8453
mitch_yanase@greenvity.com

「Greenvity Communications」「Greenvityロゴ」「Hybrii」は、Greenvity Communications, Incの商標あるいは米国特許・商標事務所に登録された登録商標です。 全てのほかの製品あるいはサービスの名称は、それら各々の所有者に帰属します。 © 2014 Greenvity Communications, Inc.